

バスケットボールファミリーの一員として、 ありたい『世界』をともに創ろう

日時：2025年10月11日（土）
JBAコンプライアンス推進グループ



バスケット 日本も元気だ！

この言葉には、「日本中でバスケットボールを楽しむ人が増え続けること、その人達がバスケットボールを楽しめる環境が充実していくこと、そしてその中から日本代表選手が生まれ日本人選手が世界で活躍すること、それが日本社会を元気にしていくこと」、こんな気持ちが込められています。

単にバスケットボールという競技が盛んになるというだけでなく、競技者、指導者、審判、運営、保護者、愛好者、パートナーなどすべてのバスケットファミリーの生活が豊かになることで、その周りにいる家族や友人、地域コミュニティーなど、すべての方を「元気」にするために、現状に満足することなく、未来に向けてあらゆる壁を乗り越えて挑戦していきます。



「JAPAN BASKETBALL STANDARD (JBS)」は、日本のバスケットボールの未来を輝かせるために、バスケットボールに関わるすべての人が「バスケで日本を元気に！」というひとつの理念にむかい、ひとつのチームとして持つべき「志」、目指すべき「目標」、行うべき「行動」を示したものです。

日本バスケットボール協会が設立100周年を迎える2030年にむけてビジョンを描き、目指すべき姿を掲げています。

https://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBS2025-PDF_ver.2.pdf

一般財団法人
富山県バスケットボール協会



Toyama Basketball Standard 2022

(富山 バスケットボール スタンダード 2022)

目指すところ	領域	内容
バスケットボール ファミリーの拡大	登録者の拡大	未登録者の登録推進
		登録メリットの追求
	プレイ環境の整備 (普及重視の視点)	リーグ戦文化の浸透
		3 X 3 の推進
	サポート環境の 整備	審判、指導者、TO、MtOMコミッショナー の育成・強化
		暴力・暴言等の排除
日本(世界)で活躍 する選手の輩出	First sports推進	U 6 世代へのアプローチ
		県民の健康増進・ 青少年の健全育成
協会組織の強化	育成環境の強化	年代別DCの更なる推進
		Bユースとの連携
		人材交流の促進 [人材発掘]
	マーケティング [財務強化]	役員の新陳代謝促進
		外部理事、女性理事の活躍
	事務局体制の充実	社会人連盟の組織支援
		既存事業の価値の向上と推進
		新規事業の創設・取組み
		業務の分担と効率化

暴力・暴言等の根絶

- 1 クリーンバスケット・クリーンザゲームの浸透
- 2 裁定委員会の活動強化・啓発推進
 - ・暴力暴言等により、バスケットボールから離れてしまうプレイヤーをなくす。
 - ・審判、TO等の関係者への誹謗中傷から守る。

“Toyama Basketball Standard 2022

(TBS2022)”は、バスケットボールが多くの富山県民に親しまれ、愛されて、地域コミュニティの一翼を担い、ひいては「バスケットボールでワクワクする富山」の実現に向け挑戦していきます。

また、本協会の定款第6条第1項第1号に定める基本方針（5か年間ほど）とします。

【暴力・暴言等の根絶】

- 1 クリーンバスケット・クリーンザゲームの浸透
- 2 裁定委員会の活動強化・啓発推進

- ・暴力暴言等により、バスケットボールから離れてしまうプレイヤーをなくす。
- ・審判、TO等の関係者への誹謗中傷から守る。



- ①我々の大切な理念である「バスケットボールで日本を元気にする」ために、バスケ界およびスポーツ界からの**暴力・暴言・ハラスメント行為等根絶**に取り組む
- ②バスケットボールファミリーへのコンプライアンスに関する**意識啓発、学びの機会の提供**
- ③する楽しさ、関わる喜びに満ちあふれた、「選ばれるスポーツ」となるための**外部への発信**



- ①我々の大切な理念である「バスケットボールで日本を元気にする」ために、バスケットボールスポーツ界からの
暴力・暴言・ハラスメントを断絶に取り組む

対処

- ②バスケットボールスポーツ界のコンプライアンスに関する
意識啓発

予防

- ③する楽しさを伝える
「選ばれる人になる」ための信頼構築

2012年

桜宮高校男子バスケット
ボール部員体罰事件

2012

はJBAの施策

2013年 スポーツ界における暴力行為根絶宣言

2018

2018年

男子日本代表選手
アジア競技大会不祥事

JBAインテグリティ委員会設置

JBAクリーンバスケット・クリーンザゲーム
～暴力暴言根絶～ 発出

2021年

JBAバスケットボールファミリー
安心安全保護宣言 発出

JBA「暴力行為等通報窓口」設置

2021

2023

2023年

2023年 「NO！スポハラ」活動開始

CLEAN THE GAME キャンペーン

趣旨

JBAの理念「バスケで日本を元気に」実現に向け、またバスケットボールの価値を高めるため、
2019年4月、私たちは
「CLEAN BASKETBALL CLEAN THE GAME～暴力暴言根絶～」のメッセージを全国へ発信しました。
今回の「CLEAN THE GAMEキャンペーン」は、バスケットファミリー全員で
「愛すべきバスケットボールを、さらに愛されるものへ」するために、
そしてバスケットボールの大会試合の価値を高めるための取り組みです。

「CLEAN THE GAME」を実現するために

PASSION バスケットを愛し勝利を追い 挑戦し続ける 熱い思いをコートの上で披露せよ
TOUGHNESS 常に激しく もっと強く 日本のスタンダードを引き上げる
そして、
RESPECT 互いを認め 互いに信頼し 互いに手を取り合う

【2019年度テクニカルファウル調査結果】

- 対象試合 都道府県大会 2,289 試合 (4月～8月に開催された U12/15/18 都道府県大会準々決勝以上)
鹿児島インターハイ 102 試合 (鹿児島インターハイ全試合)
和歌山全国中学校 78 試合 (和歌山全国中学校全試合)
- 暴力的行為・暴言によるテクニカルファウルの件数および割合
都道府県大会 21 件 / 2,289 試合 (1% : 100 試合に 1 件発生)
鹿児島インターハイ 5 件 / 102 試合 (5% : 20 試合に 1 件発生)
和歌山全国中学校 2 件 / 78 試合 (3% : 33 試合に 1 件発生)

※全国大会のほうでインテグリティによるテクニカルファウルの割合が高いという数字が出ています。

 **CLEAN** / Basketball The Game ～暴力暴言根絶～

「CLEAN THE GAME」 NO暴力暴言 試合中のインテグリティによる
テクニカルをゼロに

「RESPECT」 NO暴力暴言 コーチ、プレーヤー、審判、観客、大会運営者等、
すべての人が互いを RESPECT

「CLEAN THE GAME キャンペーン」の
メッセージ映像をぜひご覧ください。

<https://youtu.be/xAM8j0YeBIk>



- 1) 大会会場にバナーを掲出し、啓発活動を実施
- 2) 大会プログラムにメッセージを掲載し、啓発活動を実施

3) 競技規則、プレーコーリング・ガイドラインの徹底

①コーチの暴力的行為および暴言といった振る舞いに対しては、「リスペクト・フォー・ザ・ゲーム」の観点からテクニカルファウルとする。

②コーチがテクニカルファウル(C) を2個宣せられた場合、失格退場とする。

③失格退場となった場合、現段階では規律案件とはせず、次試合の出場停止処分等は科さない。

※①②は、ルール変更ではなく「適用の徹底」です。

◆目的

ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」に基づき、指導者そしてJBAとしての方向性を「JBA バスケットボールファミリー安心安全保護宣言」として明確にすることにより、**子どもたちが楽しく、安心して、安全にバスケットボールに打ち込めるよう、暴力や暴言、ハラスメントのない健全なバスケットボール環境を実現する。**

◆背景・経緯

スポーツには、それそのものを楽しむことによって子どもたちの健全な心身を発展させ豊かな人間性を涵養する力があること、また、フェアプレーやリスペクトの精神を推進していくことによって社会を守る力、よりよい社会をつくる力があることに大きな価値があるものの、現状では、スポーツ活動における暴力・暴言、ハラスメント行為は後を絶たず、子どもたちからスポーツの楽しさや心身の健やかな成長の機会を奪っていることが、各種調査等により明らかになっている。

＜ヒューマン・ライツ・ウォッチ報告書＞

<https://www.hrw.org/ja/report/2020/07/20/375777>

そこで、下記7項目を「JBAバスケットボールファミリー安心安全保護宣言」として採択し、JBA としての方針を明確にするとともに、今後関係各所と連携して状況の改善に努める。

◆「JBA バスケットボールファミリー安心安全保護宣言」7項目

2021年9月9日

1. 【クリーンバスケット・クリーンザゲーム】暴力暴言を根絶します。【暴力暴言根絶】
2. リスペクト・フェアプレーの精神を推進します。【リスペクト・フェアプレー精神】
3. 子どもの意見・発言を尊重し主体性を育みます。【子どもの主体性尊重】
4. コーチライセンス制度を充実・普及させ、良い指導者を養成・配置します。【指導者の資質向上】
5. 子どもの成長のために保護者と連携します。【保護者との連携】
6. 子どもの安心安全なバスケット環境を整備します。【セーフガーディング】
7. 年齢・性別・障がい・人種等で差別のないバスケットボールファミリーを目指します。【差別をなくす】



JBA バスケットボールファミリー 安心安全保護宣言

ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」に基づき、子どもたちが楽しく、安心して、安全にバスケットボールをプレーできるように、暴力や暴言、ハラスメントのない健全な環境を実現します。(2021年9月9日採択)

**暴力暴言
根絶**

「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム」
暴力根絶を推進します。

**リスペクト・
フェアプレー精神**

リスペクト・フェアプレーの精神を推進します。

**子ども
の主体性尊重**

子どもの意見・発言も尊重し主体性を育みます。

**指導者の
資質向上**

コーチライセンス制度を充実・普及させ、
良い指導者を養成・配置します。

**保護者との
連携**

子どもの成長のために保護者と連携します。

**セーフ
ガーディング**

子どもの安心安全な
バスケットボール環境を整えます。

差別をなくす

年齢・性別・障がい・人種等で差別のない
バスケットボールファミリーを推進します。

**すべての
プレーヤー
指導者
保護者が守る**





CLEAN Basketball
The Game - 暴力暴言根絶 -

暴力行為等通報窓口はこちら▶
<http://www.japanbasketball.jp/reportform/>





「ご来場の観客・保護者のみなさまへ」

ここはバスケットボールの会場です。コート・ベンチ、そして観客席が一体となった素晴らしい時間を共有しませんか？

バスケットボールを思いやり楽しみましょう。
ナイスプレーもミスも、そして勝利も敗北も、すべてがバスケットボールの醍醐味です。

良いプレーには大きな拍手を、
ミスには心からの激励をお願いします。
みなさんの言動一つで、プレーヤーは大きな力を発揮することも、力を失うこともあります。

プレーはプレーヤー、コーチングはコーチの役割です。
みなさんは応援の役割を担ってください。
みなさんもゲームの一員であることを自覚しましょう。

フェアプレー精神で対戦チームやレフェリーをリスペクトし、尊重しましょう。
対戦相手もレフェリーもバスケットボールの仲間です。彼ら・彼女らなくしてゲームは成り立ちません。

バスケットに関わるすべての人たちの力で素晴らしいバスケット時間を。

NO!
スポハラ

スポーツ・ハラスメント

（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、

みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ』ってなに？ <https://www.youtube.com/watch?v=4w8pvzGtxHY>



2013年4月25日にJSPO（当時日本体育協会）・JOC・JPSA（当時日本障害者スポーツ協会）・日本中学体育連盟・全国高等学校体育連盟の5団体が「スポーツにおける暴力行為根絶宣言」を採択してから10年が経過した。

しかしながら、現状においても頻繁にスポーツにおける不適切行為に関する報道がなされているように、スポーツ界における暴力、暴言、ハラスメント等の不適切行為による事案・相談は後を絶たず、このような不適切行為を根絶するためには、スポーツに携わるより多くの方がこの問題に意識を持つための取組が必要との考えのもと、「スポーツにおける暴力行為根絶宣言」から10年を迎える2023年4月25日から新たな活動に取り組むこととなった。

JBAもこの活動に賛同し、各種取り組みを実施。

設置開始日	2021年9月10日（金）
利用方法	ウェブフォームのみ http://www.japanbasketball.jp/reportform ※投書、メールなど、別ルートで入ってきた通報についても 適時対応している。
通報対象者	倫理規程第2条第1項に定める者 （主に、指導者・審判員及び審判インストラクター）
通報対象行為	バスケットボール活動時 における暴力・暴言等の不適切な行為
窓口を利用できる者	対象者の対象行為による被害者、被害者の家族又は代理人、 並びにその関係者 ※匿名は原則対応不可
窓口担当弁護士 （業務委託）	4名体制（JBA裁定委員会委員補佐も兼務）
所管事務局	コンプライアンス推進グループ 3名体制

公益財団法人日本バスケットボール協会 倫理規程

〔目 的〕

第1条 この規程は、公益財団法人日本バスケットボール協会（以下「本協会」という。）の組織運営および諸事業の推進等に関わる全ての関係者が、本協会の社会的使命および役割を自覚し、本協会の目的および事業執行の公正さに対する社会からの疑惑や不信を招くような行為の防止を図り、もって、**本協会に対する社会的な信頼を確保することを目的とする。**

〔適用範囲〕

第2条 この規程における規律の対象となる個人は、以下に定める。

- (1) 定款第10条に規定する評議員
- (2) 定款第23条第1項に規定する理事および監事
- (3) 定款第31条に規定する名誉役員
- (4) 定款第40条第3項に規定する職員
- (5) 定款第39条に規定する専門委員会を構成する委員長および委員
- (6) 基本規程第42条の2に規定する規律委員会を構成する委員長および委員
- (7) 基本規程第92条に規定する選手
- (8) **本協会に登録する指導者、審判**およびその他の登録関係者
- (9) 定款第41条に規定する加盟団体（都道府県バスケットボール協会。以下、「都道府県協会」という。）および定款第42条に規定する各種の連盟（以下、「各種の連盟」という。）の役員

〔遵守事項〕

第3条 前条第1項に定める個人は、以下の事項を遵守しなければならない。

- (1) **法令に反してはならない。**
- (2) 本協会、国際バスケットボール連盟（F I B A）、F I B A A S I A、スポーツ仲裁裁判所（C A S）、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構（J S A A）、国際オリンピック委員会（I O C）および日本オリンピック委員会（J O C）等（本協会以下を纏めて「関連団体」という。）ならびに所属する団体の定款、規程、規定、命令および指示等（以下、「規程類」という。）に反してはならない。
- (3) **暴力、暴言、ハラスメント、差別、ドーピングおよび八百長等の不適切な行為ならびにスポーツのインテグリティまたはフェアプレーを著しく害する行為を行ってはならない。**
- (4) 方法・形式のいかんにかかわらず、また、直接または間接を問わず、バスケットボールにかかるスポーツ振興投票に関する不正行為または公正を害するおそれのある行為に一切関与してはならない。
- (5) 本協会、前条に定める個人および団体ならびに本協会にかかわる一切の者の名誉または信用を棄損する行為をしてはならない。
- (6) バスケットボールに関し、不正な利益を供与し、申し込み、要求し、約束しおよびあつせんする等してはならない。
- (7) 補助金、助成金等に関して不正な経理処理および不正な申請、ならびに脱税その他の経理に関わる不正な行為を行ってはならない。
- (8) 社会の秩序に脅威を与える反社会的な勢力等と一切の関係を持つてはならない。
- (9) その他、バスケットボールに関し、直接または間接を問わず、品位を失うべき非行を行ってはならない。

- 倫理規程別表には、「処分の基準」も明記されている。

https://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/ethics_20230308.pdf

- その他、懲罰関連規程は下記リンクをご参照ください。

<http://www.japanbasketball.jp/jba/kitei>

<参考>

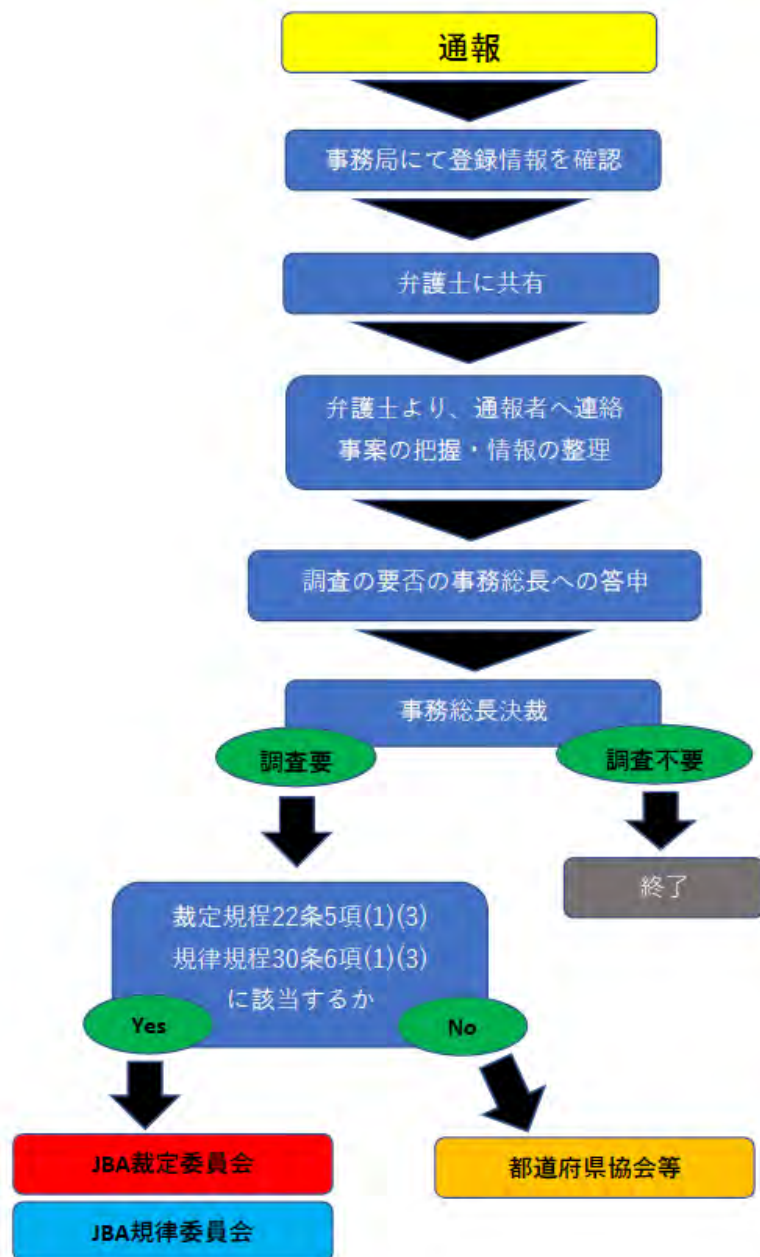
S～C級コーチライセンスは日本スポーツ協会（JSPO）の協同認定資格であることから、懲罰検討の際にJSPOの処分基準も参考にしています。

<JSPO 登録者等処分規程 処分基準>

<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/boryoku/newkizyun230101.pdf>

<JSPO スポーツ指導者に関する諸規程>

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid1158.html>



通 報

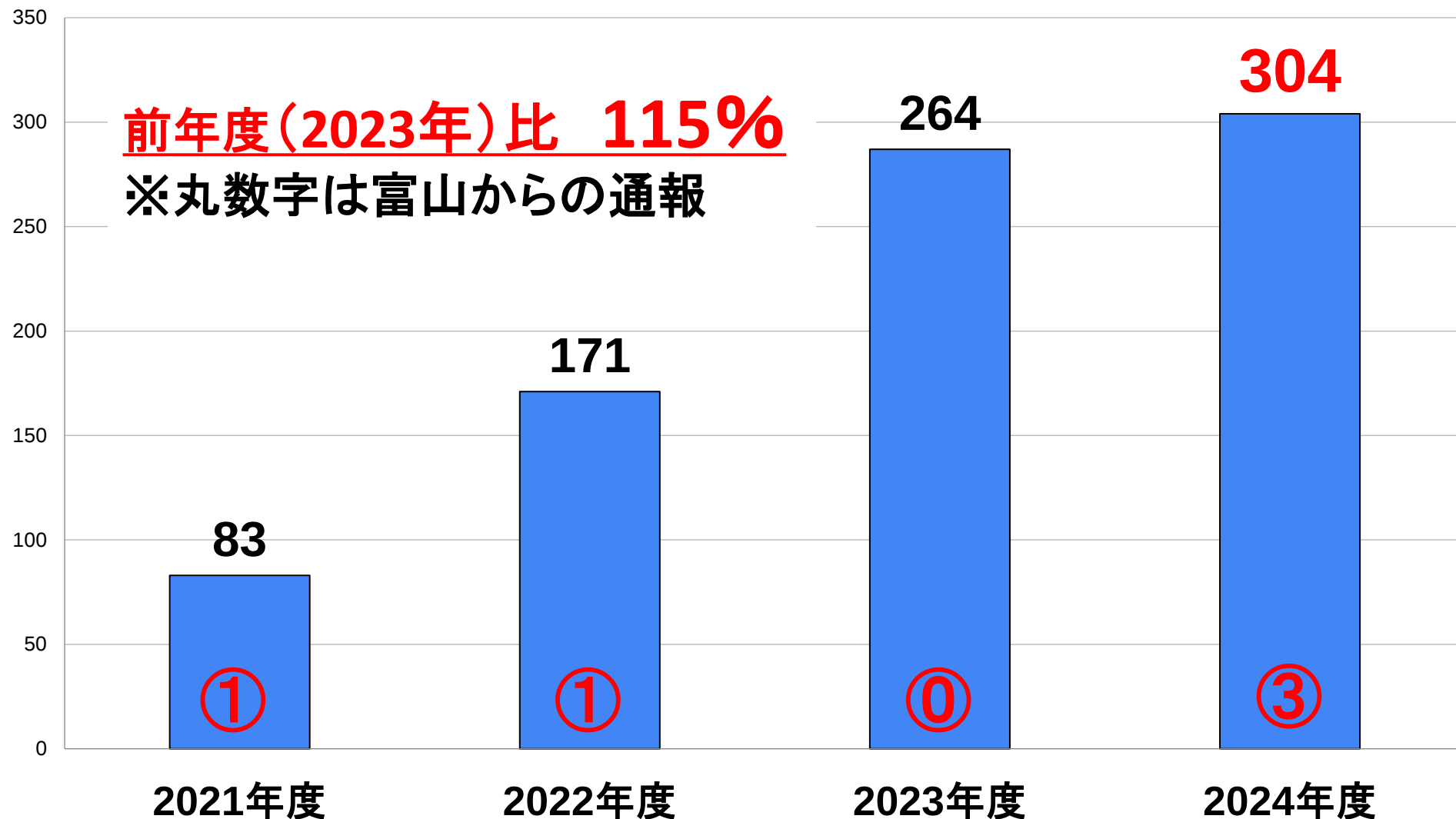
- 通報対象者の登録有無を確認
- 担当弁護士によるメール・電話での聴取
- 聴取内容をまとめ、調査の要否を判断

調査が必要と判断された場合

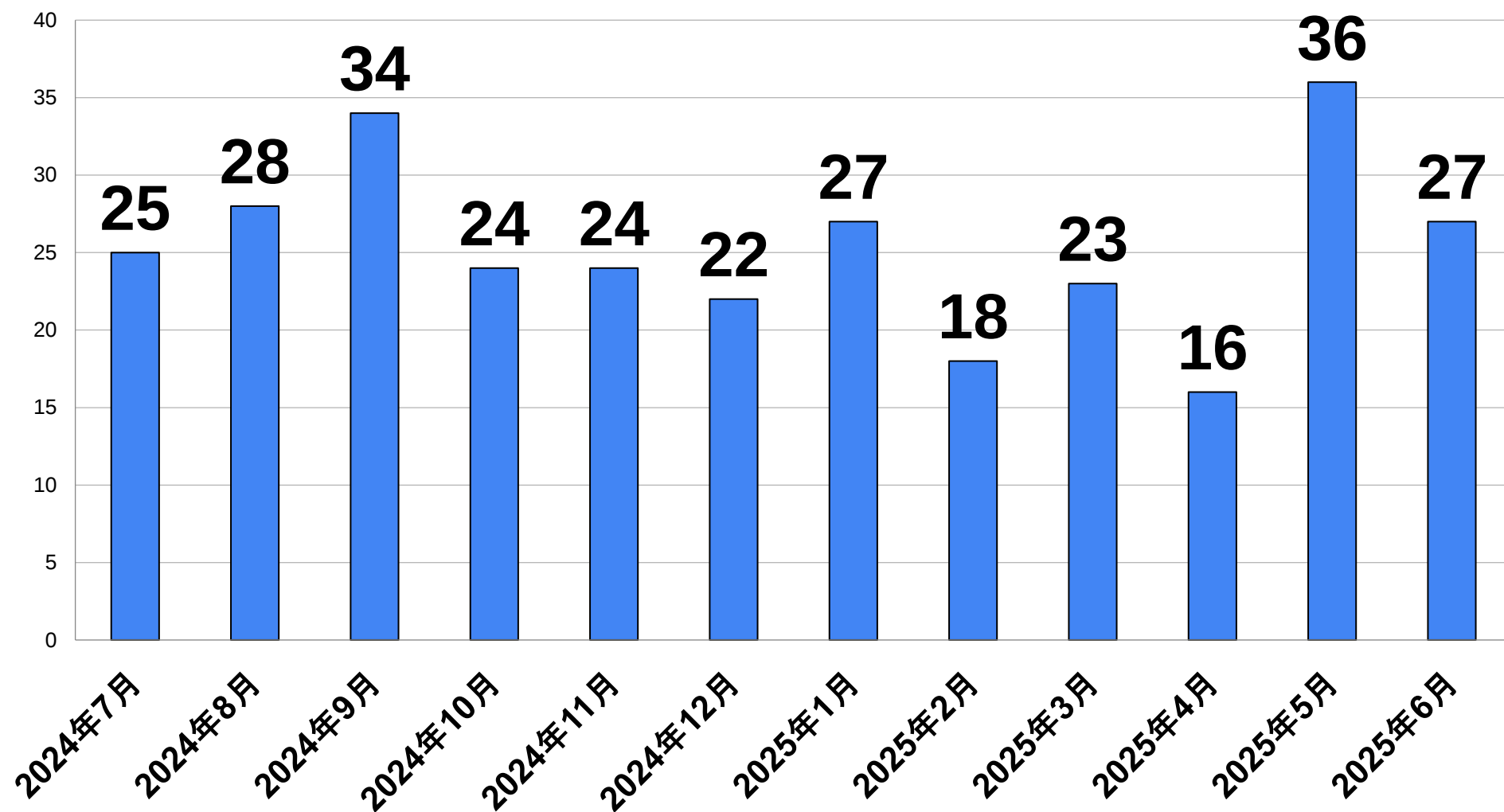
調査対象者が保有するライセンス等により、JBA裁定委員会又はJBA規律委員会もしくは都道府県協会等に調査が付託される。

※S～C級コーチライセンス（JSPO協同認定資格保有者）はJBAが取り扱う

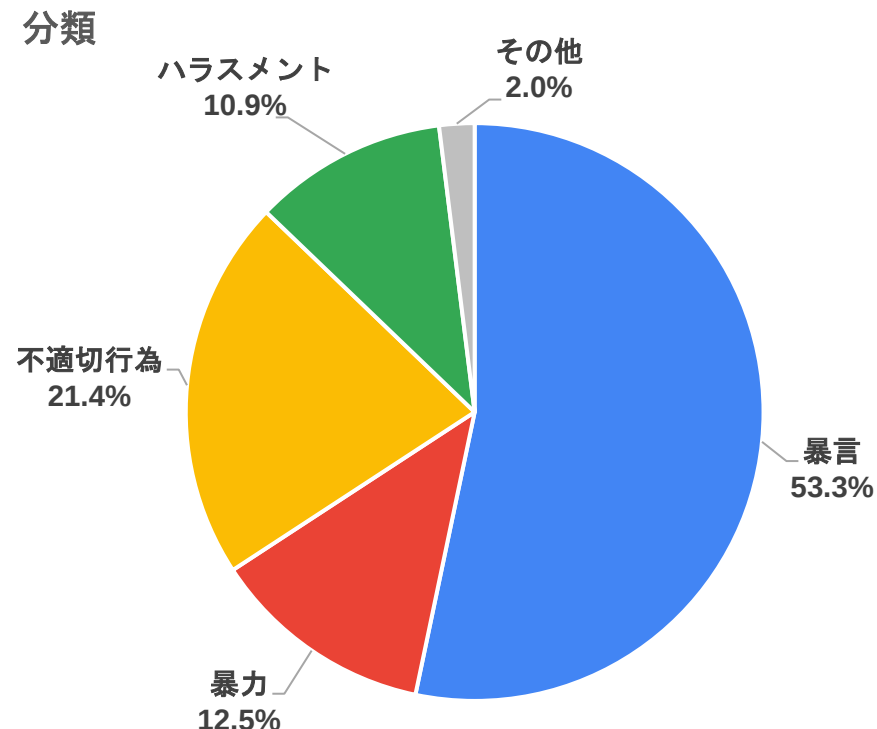
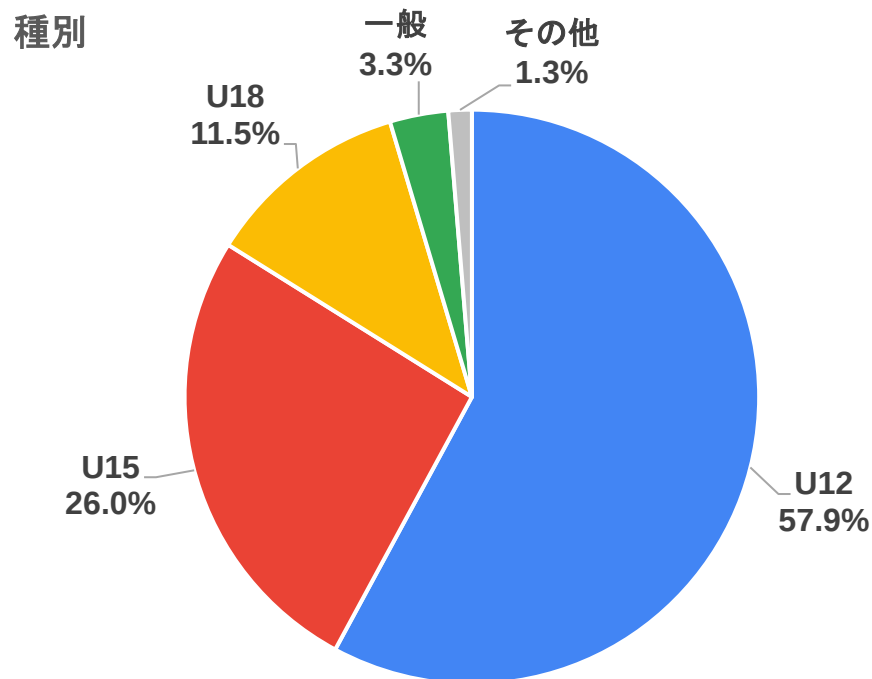
通報累計：304件【期間：2024年7月1日～2025年6月30日】



通報累計：304件【期間：2024年7月1日～2025年6月30日】



通報累計：304件【期間：2024年7月1日～2025年6月30日】

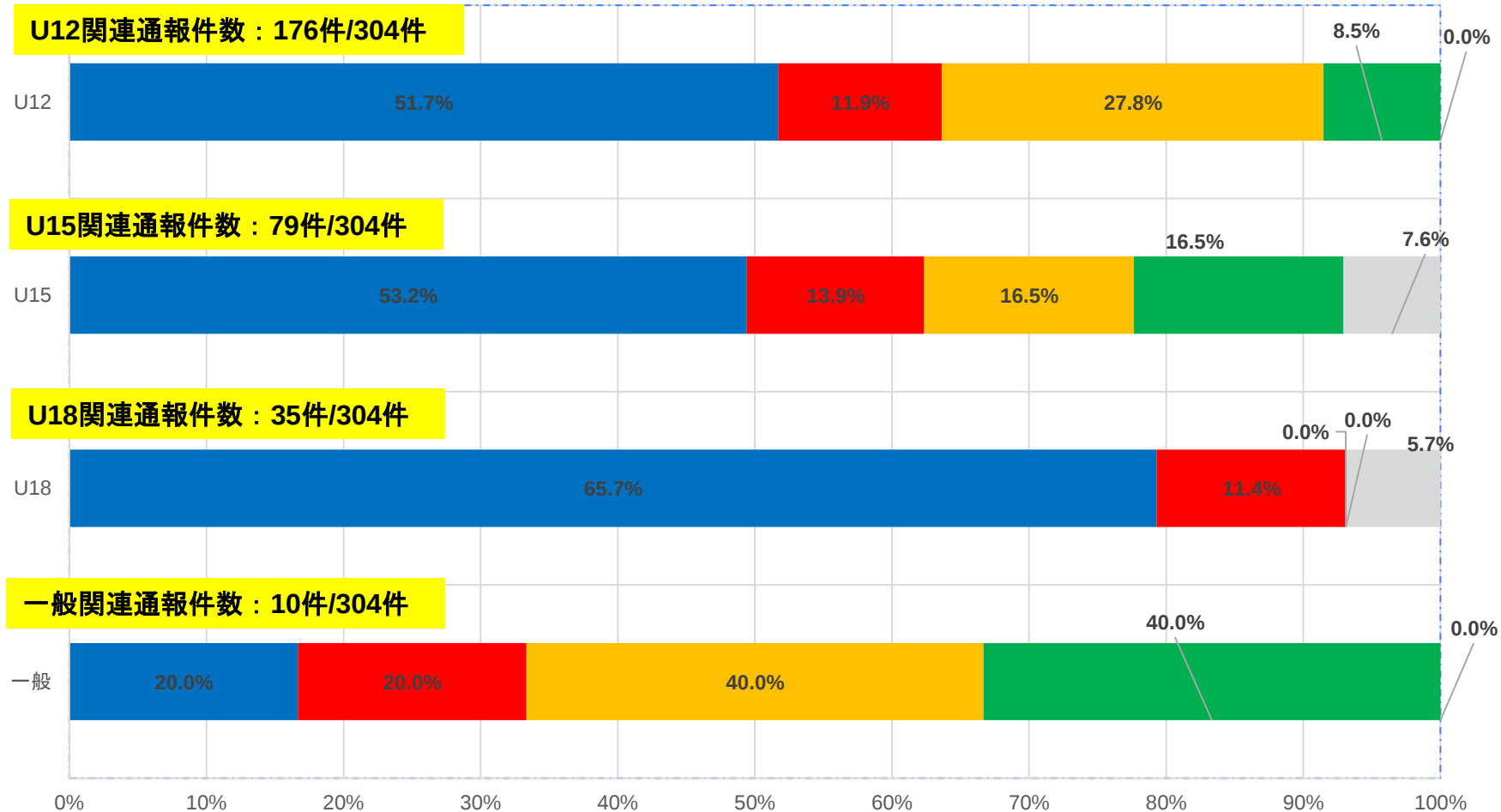


＜ポイント＞

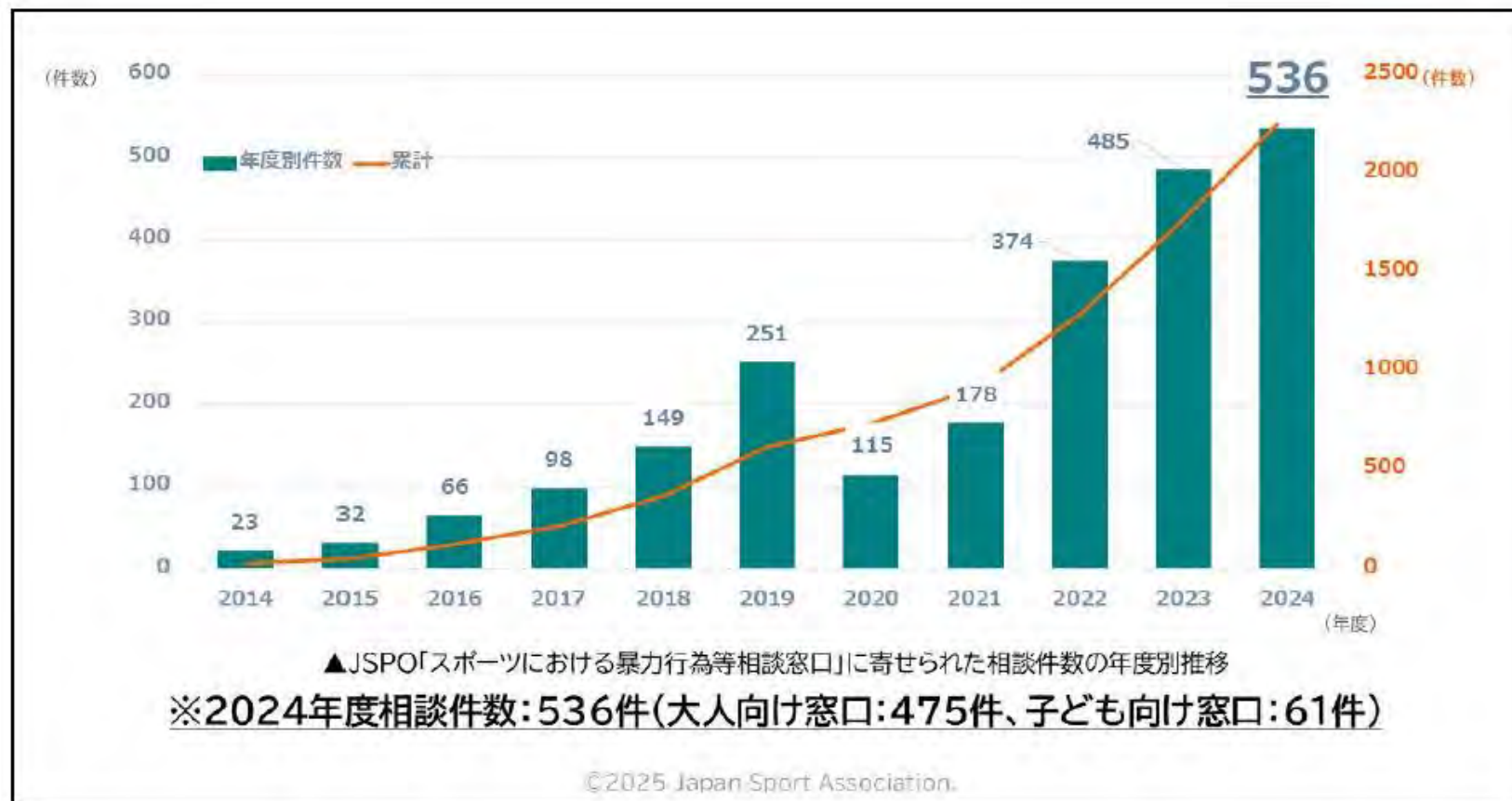
- ✓保護者の関与が強いアンダーカテゴリーからの通報がほとんど。
- ✓運動部活動の地域移行等の環境変化に伴い、U15カテゴリーの通報が増加傾向にある。
- ✓暴言は依然多く、暴力的指導もまだ残っている。不適切行為も増加傾向にある（後述）。

通報累計：304件【期間：2024年7月1日～2025年6月30日】

- 暴言
- 暴力
- 不適切行為
- ハラスメント
- その他

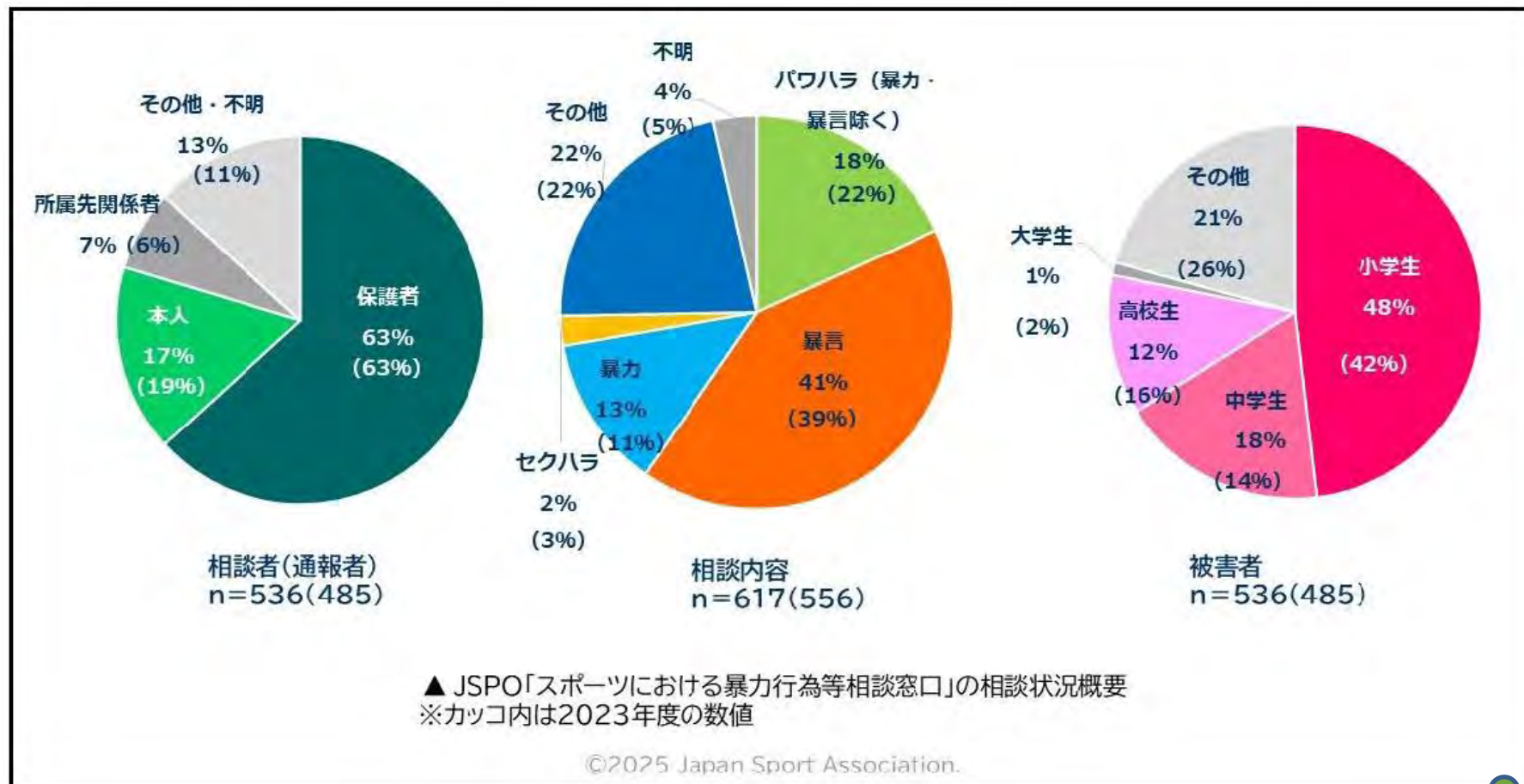


2024年度 相談累計：536件（過去最多）



通報窓口設置前までは、バスケットに関する相談は全競技中最多だった！

2024年度 相談累計：536件（過去最多）



被害者の内訳の大きな割合を占めるのはアンダーカテゴリー（JBAも同様）

**個人情報保護の観点から、口頭での
ご共有のみとさせていただきます。**

最初に設定したありたい世界をふまえて、、

バスケット界の現状や処分事例をふまえて、、、

- ・どんな感想を持ちましたか？
- ・自チームのコーチの指導は？
- ・自チーム内のコミュニケーションはうまくいっていますか？
- ・コーチと保護者間の関係性は良いですか？

最初に設定したありたい世界をふまえて、

バ
・ 一歩さがって、自身のコーチング・選手、
・ 保護者とのコミュニケーション・振る舞い
・ を客観視してみましょう！

・ 自チーム内のコミュニケーションはうまくいっていますか？

・ コーチと保護者間の関係性は良いですか？

<コーチ側の意見例>

- ・勝つことで得るものも多い。どんなことをしてでも勝たせてあげたい。
- ・自分の指導していることができれば勝てるから、そのとおりプレーさせている。
- ・選手が殻を破ってもう一步成長するため、きつく当たっている。
- ・自分の指導に意見してくる保護者の対応に困っている。
- ・選手をケガから守るため、審判には言うべきことは言う。

<保護者側の意見例>

- ・子どもたちがバスケをしていて楽しそうに感じない。
- ・暴力・暴言・ハラスメントはいけないことだと思う。でも、コーチはボランティアで指導してくれているから強く言えない。言ってもかわらない。
- ・うちの子はダメだからコーチにどんどん厳しく指導してもらいたい。
- ・大人になったら理不尽なことはたくさんあるから、耐える力を身につけてほしい。
- ・コーチは有力校にパイプがあるから、ごちゃごちゃ言うと子どもの進路に影響してしまう。
- ・チーム内の連絡はグループLINEで行っていて、コミュニケーションがもどかしい。

＜コーチ側の意見例＞

- ・勝つアとで得るものも多い。どんなアとをしてでも勝たせてあげたい。



- ・コーチは有力校にパイプがあるから、ごちゃごちゃ言うと子どもの進路に影響してしまう。
- ・チーム内の連絡はグループLINEで行っていて、コミュニケーションがもどかしい。

最初に設定したありたい世界をふまえて、、

バスケット界の現状や処分事例をふまえて、、、

**コーチとして、保護者の立場として
今後どのように振る舞っていきますか？
行動していきますか？**

お隣の方と3分間ずつ

上記についてお話してみてください！

<ゴール>

- **プレーヤーズセンタード（主役は選手）**
- **暴力・暴言・ハラスメントを行わない。容認しない。**
- **ご自身の姿、振る舞いで選手や周囲に良い影響を与えてほしい**

- 「コーチの指導のおかげで選手として、人間として成長できた」
- 「コーチがバスケットボールの楽しさを教えてくれた」
- 「バスケするのが楽しくて楽しくて、練習が待ちきれない」
- 「■ ■ くんのママがパスを褒めてくれて嬉しかった！！」
- 「バスケって、良い指導者が多いよね！！」
- 「うちの子どもにもバスケをやらせたいな♪」

皆さんの行動や振る舞い、声掛けが
必ずバスケ界の未来につながります！！

まとめ

 バスケットボールというスポーツが今よりもっと輝くため、富山県民に愛され、社会的にも価値の高いスポーツと認められるために、バスケットボールファミリーの皆さまひとりひとりのインテグリティ、コンプライアンス意識を向上させる必要があります。

 皆さまはバスケットボールを愛する仲間であり運命共同体です。
ありたい『世界』を実現させるため、手を携えて共に歩みましょう！

 育成年代を支える皆さまの姿勢・立ち居振る舞いの影響力は計り知れません。自チームはもちろんのこと、周辺のチームや関係者も巻き込んで『善の連帯』を広げていきましょう！！

「一人の百歩より、百人の一步」

まとめ

🏀 バスケットボールというスポーツが今よりもっと輝くため、富山県民に愛され、社会的にも価値の高いスポーツと認められるために、バスケットボールファミリーの皆さまひとりひとりのインテグリティ、コンプライアンス意識を向上させる必要があります。

🏀 皆さまはバスケットボールを愛する仲間であり運命共同体です。
ありたい『世界』を実現させるため、手を携えて共に歩みましょう！

🏀 育成年代を支える皆さまの姿勢・立ち居振る舞いの影響力は計り知れません。自チームはもちろんのこと、周辺のチームや関係者も巻き込んで『善の連帯』を広げていきましょう！！

「一人の百歩より、百人の一步」